

縄文時代～奈良時代

人々の営みのはじまりから「イズノクニ」の成立へ

MAP D-3 仲道 A 遺跡 県指定

縄文時代の集落跡です。伊豆で最も古い、縄文時代草創期の土器（県指定文化財）が出土したことで、この地に早くから人々の暮らしがあったことが判明しました。



▲仲道 A 遺跡出土の縄文土器

MAP C-3 公蔵免遺跡

縄文時代中期の集落跡です。大量の土器が出土しており、土器の捨て場だったと考えられています。その中には他地域との繋がりを示す土器もあり、縄文人の交流のようすを伺わせます。

MAP B-3 やま き い せき 国史跡 山木遺跡

弥生時代後期から続く集落遺跡です。壺川の水路改修工事中に土器が出土したことから、昭和 25 年（1950）に第 1 次発掘調査が行われ、柱・ねずみ返し・扉等の建物の部材や田下駄・鋤等の農具が大量に出土しました。その内、239 点が国の重要有形民俗文化財に指定され、一部は伊豆の国歴史館いずるで展示しています。その後の調査では、水田跡や集落跡も見つかりました。



▲ねずみ返し



▲山木遺跡の出土品

MAP B-2 し ら い し せ っ か ん 白石の石棺

付近にあった洞古墳の家型石棺系横穴式石棺で、昭和時代に移設された現在の場所に置かれています。伊豆産凝灰岩をくり抜いたもので、東海地方では珍しい例です。



▲白石の石棺

MAP C-2 こま が と こ 駒形古墳

古墳時代後期の前方後円墳です。多田大塚古墳群と並び、伊豆地方では数少ない、埴輪が出土しています。現在は後円部のみが残存しています。

MAP A-3 た だ お づ か こ ふ ぐ ん 多田大塚古墳群

5～6 世紀に造られた、10 基の古墳からなる古墳群です。このうち、5 世紀中頃に築造された 4 号墳の石室から短甲・鏡・太刀等が出土し、5 世紀末～6 世紀初め頃に築造された 6 号墳は伊豆地域では珍しい帆立貝形の古墳で、盾持人埴輪等多数の埴輪が出土しました。



多田大塚 6 号墳出土土物▶

MAP B-2 き た え ま よ こ 穴 北江間横穴群 国史跡 国史文

伊豆と都を繋いだ「若舎人」が眠る場所土葬から火葬への転換期を示す横穴群 7 世紀前半から 8 世紀中頃に造られた横穴墓群です。北江間横穴群は、大師山横穴群や大北横穴群など複数の横穴群の総称です。高さ 2 m を超える横穴からわずか 30 cm ほどの小さな横穴まで、大北横穴群は、多種多様な横穴墓が凝灰岩の岩盤に 50 基以上掘られており、発掘調査では石櫃や須臾器等が出土しています。大北 24 号横穴から出土した石櫃には「若舎人」と刻まれ、8 世紀初頭の文字資料として国の重要文化財に指定されています。



▲石櫃 若舎人の刻銘がある（国重要文化財）



▲大師山横穴群

MAP C-3 ひ ら い し こ 平石古墳群

横穴式石室を持つ古墳時代後期の円墳群です。石室内にある組み合わせ式箱型石棺等が見学できます。 平石 4 号墳の石室▶



MAP B-2 は な さ か し ほ し こ よ し 花坂島橋古窯址

伊豆国分寺の瓦や、都などに納めた特殊な形の須臾器壺を生産した窯跡です。現在は住宅地や伊豆中央道があり窯跡は見られませんが、須臾器などの流通や生産のようすを示す貴重な遺跡です。

平安時代～室町時代

武士の世のはじまりは伊豆から

MAP B-3 ひ る が し ま こ う え ん 蛭ヶ島公園

永暦元年（1160）、伊豆に流罪となった源頼朝が、平家追討を目指して挙兵するまでの約 20 年間を過ごしたとされる場所です。現在は公園として整備され、頼朝と北条政子の像や、蛭島という文字が刻まれた江戸時代の石碑が建てています。



▲頼朝・政子夫婦の像

MAP B-3 ほ う し ょ う し て い あ と え ん し ゃ 北条氏邸跡（円成寺跡） 国史跡

執権北条氏の本拠地として栄え、鎌倉時代の終わりを経て、尼寺として存続した北条氏ゆかりの地

鎌倉幕府の執権を務めた北条氏の館跡です。北条時政や源頼朝が活躍していた頃の館跡が発見されています。発掘調査では鎌倉時代の建物跡や井戸が見つかり、中国陶磁器やかわけなどが多数出土しました。遺跡の年代から時政の館と考えられます。北条氏滅亡後、14 代執権北条高時の母、寛海円成は北条氏の女性たちとともに伊豆に移り、一族を鎮魂するため円成寺を建てました。円成寺は関東管領山上杉氏の庇護を受けながら存続しました。発掘調査では仏具や茶の道具などが見つかっています。



▲北条氏邸跡（円成寺跡）の全景



▲北条氏館の天目茶碗

MAP B-2 ほ う し ょ う ま き こ う 湯の井戸 北条政子産湯の井戸

「北条政子の産湯に使った」という伝承のある井戸です。史跡北条氏邸跡に近接するこの一帯も北条家の館であったと思われるす。



北条政子産湯の井戸▶

MAP B-2 が ん じ ょ う じ ゃ い ん あ と 願成院跡 国史跡

※遺跡である国史跡願成院跡の解説です。運慶作の仏像を安置する願成院跡の解説は「市内の寺院・神社」にあります。

北条時政・義時・泰時が建てた大伽藍の遺跡 文治 5 年（1189）、源頼朝の奥州攻めの戦勝祈願のために北条時政が建立した北条家の氏寺である願成院跡とその周辺の土地は、時政・義時・泰時の三代にわたって塔堂が造営された浄土様式の寺院の跡です。発掘調査により当時の堂や塔の存在が判明し、創建当時の瓦が出土しています。現在の境内の北側にはかつて大きな池があり、広大な寺院であったと推定されています。



▲国史跡願成院跡



▲国史跡願成院跡から出土した瓦

MAP B-2 ち ゅ う せい ざ い め い せ き 中世在銘石造物群 県指定

鎌倉時代末～南北朝時代にかけての年号を刻んだ石造物群です。中でも足仙大和尚五輪塔と呼ばれる五輪塔には正安 4 年（1302）の銘が刻まれており、これは静岡県内の五輪塔で最も古い銘で、県の有形文化財に指定されています。八重姫御堂で有名な真珠珠の境内にあります。▲足仙大和尚五輪塔



▲足仙大和尚五輪塔

MAP B-2 で ん 伝堀越御所跡 国史跡

都風の園池跡と高級な陶磁器が物語る、足利政知・茶々丸の御所跡が 室町時代後半、戦乱の続く関東地方を治めるため、8 代將軍足利義政の兄、足利政知が公方として京から関東に派遣されました。伝堀越御所跡は、政知の御所跡と考えられる遺跡です。発掘調査では都風の庭園や建物跡、高級な陶磁器や茶道具などが出土しています。その後、15 世紀末に伊勢宗瑞（北条早雲）が堀越御所の足利茶々丸を滅ぼして伊豆を平定しました。



▲発掘調査の様子



▲伝堀越御所跡から富士山を望む

戦国時代

戦国時代のはじまりと終わり

MAP B-3 に ら や ま じ ょ う あ つ け たり つ け しろ あ と 韮山城跡附付城跡 国史跡

北条五代の祖・伊勢宗瑞（北条早雲）がつくり、小田原合戦で 4 万人の大軍に立ち向かった城

伊勢宗瑞（北条早雲）が生誕の居城とし、東国支配の足がかりとした戦国時代の城です。2 代氏綱以降は小田原城に本拠が移りますが、韮山城はその後も 2 度に渡る武田氏の進攻を食い止めました。天正 18 年（1590）、豊臣秀吉の小田原合戦の際は、防備強化のための増築や改修を繰り返し、3 ヶ月の籠城の末、開城しました。



▲韮山城跡の全景

韮山城跡は、本城と周辺の丘陵にある要害を含む広大な城郭で、豊臣軍が韮山城を攻める際に築いた付城も併せて国史跡に指定されています。本城は遊歩道が整備され、現在も土塁や堀などの当時の遺構を見学することができます。



▲二の丸跡



▲本丸跡から塩倉址方面

MAP B-3 歴史観光・学習の拠点施設として、令和 8 年 5 月 31 日に開館！

伊豆の国歴史館いずる

歴史の節目の舞台になった現地に足を運ぶ際の周辺拠点施設です。市内から出土した文化財について、動画や模型、プロジェクションマッピング、体験コーナーなどでわかりやすく解説しています。また、伊豆の国市の歴史を楽しむことができる、火起こし体験などのワークショップもあります。

開館時間 9:00～16:30
休 館 日 水曜日・年末年始
その他館内整理日など
入 館 料 大人 300 円 こども 50 円（伊豆の国市民は無料）

江戸時代

江戸幕府の代官支配地としての伊豆

MAP B-3 に ら や ま や く し ゃ あ と え が わ て い 韮山役所跡（江川邸） 国史跡 国史文

江戸幕府を支え、民衆に慕われた韮山代官の邸宅

江戸幕府の世襲代官を務めた江川家の邸宅です。敷地内には関東地方（伊豆・駿河・武蔵・相模等）の幕府領を支配するための役所が設置されました。

17 世紀頃に建てられたと推定される主屋をはじめ、書院・仏間・門・土蔵など「江川家住宅」として、また、江川家に伝わる古文書・典籍・書画・武具など近世から近代の重要な資料が「江川家関係資料」として、どちらも国の重要文化財に指定されています。さらに、敷地は「韮山役所跡」として国の史跡に指定されています。



▲江川家住宅



▲江戸時代の土蔵

幕末の偉人 江川太郎左衛門英龍（坦庵）について

西洋砲術の研究や江戸湾の防衛のための品川台場の建設、大砲を生産するため韮山反射炉の建設を進めるなど、海防政策に大きな役割を果たしました。また、農兵制度の推進や、携行食としてのパンの製造を行う傍ら、書画にも優れた文化人でもありました。地元では親しみを込めて「たんなんさん」と呼ばれています。

MAP B-3 き ょ う う え の け じ ゅ う たく 旧上野家住宅 県指定

江戸時代中期頃の鎌倉の豪族の建物です。市民から寄贈を受け、蛭ヶ島公園内に移築されました。平屋・木造葺きで広い土間があり、田方平野の農家のくらしを見ることが出来ます。現在は市の歴史民俗資料館として、民具や農具を展示しています。



▲旧上野家住宅

MAP C-2 き ょ う づ みの 水 間堰記念碑

明暦元年（1655）に完成した取水堰の跡です。狩野川から水を取り入れ、間間村の田畑を潤すために築造されました。昭和 45 年に治水対策のため撤去され、記念碑が建てられました。

伊豆の国市 歴史巡り まるごとマップ

伊豆の国市 歴史巡り まるごとマップ

（新緑、夏山並み、山並み）

おのり歩道に歴史果実の山

はな市国史文

自然の響きを今に伝える文化財

自然の響きを今に伝える文化財

MAP B-2 地震動の痕跡 国史跡

当時の小学校に展示されていた震動の痕跡の揺れを記録した天然の地震計

地震動の痕跡

MAP B-1-2 狩野川放水路 県指定

源頼朝と結ばれることなど古川に身を投げた、伊東祐兵の娘、八重姫を供養する「八重姫御堂」があります。4 月には八重姫供養祭が開かれています。

MAP B-2 真珠院 県指定

鎌倉幕府の 2 代執権北条義時夫妻の菩提寺。境内には夫妻の墓があります。本堂内にある鎌倉時代の木造阿弥陀如来坐像と、東山阿弥師の来坐像と室町時代の木造観音菩薩坐像は静岡県指定文化財です。

MAP B-3 荒神社 県指定

「荒神社さん」と呼ばれ、火伏せの神様として信仰を集めています。1 月 28・29 日に行われる祭りでは、お札や「ミニモチヨ」という火作りが授けられます。

MAP B-2 信光寺 県指定

鎌倉幕府將軍源頼朝の報に接した民田信光が出家し開いたと伝えられるお寺です。

MAP B-4 香山寺 県指定

山本兼隆が建立したと伝えられています。境内には室町時代の六地蔵石櫃があります。周辺には山本兼隆の館があったと伝わっています。この地で滅ぼされた兼隆を偲ひ、供養塔が建立されました。

MAP A-2 成願寺 県指定

源氏再興の百日参りをする源頼朝に、餅を毎日献上した老女がいます。頼朝がその老女のためにこのお寺を建立したと伝えられています。その老女の墓が境内にあります。

MAP B-2 荒木神社 県指定

安政 4 年（1857）の完成後、幕府重宝の反射炉として 18 ポンドノ反射炉などを製造しました。実際に稼働した反射炉としては国内で唯一現存しています。

MAP B-2 荒木神社 県指定

平政 27 年（2015）に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」の構成遺産として世界文化遺産に登録されました。

MAP B-2 豆塚神社 県指定

大舅山にあった延喜式内社石塚高神社が分祀されたと伝え、由緒ある神社です。

MAP B-2 北條寺 県指定

鎌倉幕府の 2 代執権北条義時夫妻の菩提寺。境内には夫妻の墓があります。本堂内にある鎌倉時代の木造阿弥陀如来坐像と、東山阿弥師の来坐像と室町時代の木造観音菩薩坐像は静岡県指定文化財です。

MAP B-3 本立寺 県指定

は静岡県指定文化財です。

MAP B-2 北條寺 県指定

鎌倉幕府の 2 代執権北条義時夫妻の菩提寺。境内には夫妻の墓があります。本堂内にある鎌倉時代の木造阿弥陀如来坐像と、東山阿弥師の来坐像と室町時代の木造観音菩薩坐像は静岡県指定文化財です。

MAP B-3 本立寺 県指定

は静岡県指定文化財です。

MAP B-2 香山寺 県指定

山本兼隆が建立したと伝えられています。境内には室町時代の六地蔵石櫃があります。周辺には山本兼隆の館があったと伝わっています。この地で滅ぼされた兼隆を偲ひ、供養塔が建立されました。

MAP A-2 成願寺 県指定

源氏再興の百日参りをする源頼朝に、餅を毎日献上した老女がいます。頼朝がその老女のためにこのお寺を建立したと伝えられています。その老女の墓が境内にあります。

MAP B-2 荒木神社 県指定

安政 4 年（1857）の完成後、幕府重宝の反射炉として 18 ポンドノ反射炉などを製造しました。実際に稼働した反射炉としては国内で唯一現存しています。

MAP B-2 荒木神社 県指定

平政 27 年（2015）に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」の構成遺産として世界文化遺産に登録されました。

MAP B-2 豆塚神社 県指定

大舅山にあった延喜式内社石塚高神社が分祀されたと伝え、由緒ある神社です。

MAP B-2 北條寺 県指定

鎌倉幕府の 2 代執権北条義時夫妻の菩提寺。境内には夫妻の墓があります。本堂内にある鎌倉時代の木造阿弥陀如来坐像と、東山阿弥師の来坐像と室町時代の木造観音菩薩坐像は静岡県指定文化財です。

MAP B-3 本立寺 県指定

は静岡県指定文化財です。

MAP B-2 香山寺 県指定

山本兼隆が建立したと伝えられています。境内には室町時代の六地蔵石櫃があります。周辺には山本兼隆の館があったと伝わっています。この地で滅ぼされた兼隆を偲ひ、供養塔が建立されました。

MAP A-2 成願寺 県指定

源氏再興の百日参りをする源頼朝に、餅を毎日献上した老女がいます。頼朝がその老女のためにこのお寺を建立したと伝えられています。その老女の墓が境内にあります。

MAP B-2 荒木神社 県指定

安政 4 年（1857）の完成後、幕府重宝の反射炉として 18 ポンドノ反射炉などを製造しました。実際に稼働した反射炉としては国内で唯一現存しています。

MAP B-2 荒木神社 県指定

平政 27 年（2015）に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」の構成遺産として世界文化遺産に登録されました。

MAP B-2 豆塚神社 県指定

大舅山にあった延喜式内社石塚高神社が分祀されたと伝え、由緒ある神社です。

MAP B-2 北條寺 県指定

鎌倉幕府の 2 代執権北条義時夫妻の菩提寺。境内には夫妻の墓があります。本堂内にある鎌倉時代の木造阿弥陀如来坐像と、東山阿弥師の来坐像と室町時代の木造観音菩薩坐像は静岡県指定文化財です。

MAP B-3 本立寺 県指定

は静岡県指定文化財です。

MAP B-2 香山寺 県指定

山本兼隆が建立したと伝えられています。境内には室町時代の六地蔵石櫃があります。周辺には山本兼隆の館があったと伝わっています。この地で滅ぼされた兼隆を偲ひ、供養塔が建立されました。

MAP A-2 成願寺 県指定

源氏再興の百日参りをする源頼朝に、餅を毎日献上した老女がいます。頼朝がその老女のためにこのお寺を建立したと伝えられています。その老女の墓が境内にあります。

MAP B-2 荒木神社 県指定

安政 4 年（1857）の完成後、幕府重宝の反射炉として 18 ポンドノ反射炉などを製造しました。実際に稼働した反射炉としては国内で唯一現存しています。

MAP B-2 荒木神社 県指定

平政 27 年（2015）に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」の構成遺産として世界文化遺産に登録されました。

MAP B-2 豆塚神社 県指定

大舅山にあった延喜式内社石塚高神社が分祀されたと伝え、由緒ある神社です。

MAP B-2 北條寺 県指定

鎌倉幕府の 2 代執権北条義時夫妻の菩提寺。境内には夫妻の墓があります。本堂内にある鎌倉時代の木造阿弥陀如来坐像と、東山阿弥師の来坐像と室町時代の木造観音菩薩坐像は静岡県指定文化財です。

MAP B-3 本立寺 県指定

は静岡県指定文化財です。

MAP B-2 香山寺 県指定

山本兼隆が建立したと伝えられています。境内には室町時代の六地蔵石櫃があります。周辺には山本兼隆の館があったと伝わっています。この地で滅ぼされた兼隆を偲ひ、供養塔が建立されました。

MAP A-2 成願寺 県指定

源氏再興の百日参りをする源頼朝に、餅を毎日献上した老女がいます。頼朝がその老女のためにこのお寺を建立したと伝えられています。その老女の墓が境内にあります。

MAP B-2 荒木神社 県指定

安政 4 年（1857）の完成後、幕府重宝の反射炉として 18 ポンドノ反射炉などを製造しました。実際に稼働した反射炉としては国内で唯一現存しています。

MAP B-2 荒木神社 県指定

平政 27 年（2015）に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」の構成遺産として世界文化遺産に登録されました。

MAP B-2 豆塚神社 県指定

大舅山にあった延喜式内社石塚高神社が分祀されたと伝え、由緒ある神社です。

MAP B-2 北條寺 県指定

鎌倉幕府の 2 代執権北条義時夫妻の菩提寺。境内には夫妻の墓があります。本堂内にある鎌倉時代の木造阿弥陀如来坐像と、東山阿弥師の来坐像と室町時代の木造観音菩薩坐像は静岡県指定文化財です。

MAP B-3 本立寺 県指定

は静岡県指定文化財です。

MAP B-2 香山寺 県指定

山本兼隆が建立したと伝えられています。境内には室町時代の六地蔵石櫃があります。周辺には山本兼隆の館があったと伝わっています。この地で滅ぼされた兼隆を偲ひ、供養塔が建立されました。

MAP A-2 成願寺 県指定

源氏再興の百日参りをする源頼朝に、餅を毎日献上した老女がいます。頼朝がその老女のためにこのお寺を建立したと伝えられています。その老女の墓が境内にあります。

MAP B-2 荒木神社 県指定

安政 4 年（1857）の完成後、幕府重宝の反射炉として 18 ポンドノ反射炉などを製造しました。実際に稼働した反射炉としては国内で唯一現存しています。

MAP B-2 荒木神社 県指定

平政 27 年（2015）に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」の構成遺産として世界文化遺産に登録されました。

MAP B-2 豆塚神社 県指定

大舅山にあった延喜式内社石塚高神社が分祀されたと伝え、由緒ある神社です。

MAP B-2 北條寺 県指定

鎌倉幕府の 2 代執権北条義時夫妻の菩提寺。境内には夫妻の墓があります。本堂内にある鎌倉時代の木造阿弥陀如来坐像と、東山阿弥師の来坐像と室町時代の木造観音菩薩坐像は静岡県指定文化財です。

MAP B-3 本立寺 県指定

は静岡県指定文化財です。

MAP B-2 香山寺 県指定

山本兼隆が建立したと伝えられています。境内には室町時代の六地蔵石櫃があります。周辺には山本兼隆の館があったと伝わっています。この地で滅ぼされた兼隆を偲ひ、供養塔が建立されました。

MAP A-2 成願寺 県指定

源氏再興の百日参りをする源頼朝に、餅を毎日献上した老女がいます。頼朝がその老女のためにこのお寺を建立したと伝えられています。その老女の墓が境内にあります。

MAP B-2 荒木神社 県指定

安政 4 年（1857）の完成後、幕府重宝の反射炉として 18 ポンドノ反射炉などを製造しました。実際に稼働した反射炉としては国内で唯一現存しています。

MAP B-2 荒木神社 県指定

平政 27 年（2015）に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」の構成遺産として世界文化遺産に登録されました。

MAP B-2 豆塚神社 県指定

大舅山にあった延喜式内社石塚高神社が分祀されたと伝え、由緒ある神社です。

MAP B-2 北條寺 県指定

鎌倉幕府の 2 代執権北条義時夫妻の菩提寺。境内には夫妻の墓があります。本堂内にある鎌倉時代の木造阿弥陀如来坐像と、東山阿弥師の来坐像と室町時代の木造観音菩薩坐像は静岡県指定文化財です。

MAP B-3 本立寺 県指定

は静岡県指定文化財です。

MAP B-2 香山寺 県指定

山本兼隆が建立したと伝えられています。境内には室町時代の六地蔵石櫃があります。周辺には山本兼隆の館があったと伝わっています。この地で滅ぼされた兼隆を偲ひ、供養塔が建立されました。

MAP A-2 成願寺 県指定

源氏再興の百日参りをする源頼朝に、餅を毎日献上した老女がいます。頼朝がその老女のためにこのお寺を建立したと伝えられています。その老女の墓が境内にあります。

MAP B-2 荒木神社 県指定

安政 4 年（1857）の完成後、幕府重宝の反射炉として 18 ポンドノ反射炉などを製造しました。実際に稼働した反射炉としては国内で唯一現存しています。

MAP B-2 荒木神社 県指定

平政 27 年（2015）に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」の構成遺産として世界文化遺産に登録されました。

MAP B-2 豆塚神社 県指定

大舅山にあった延喜式内社石塚高神社が分祀されたと伝え、由緒ある神社です。

MAP B-2 北條寺 県指定

鎌倉幕府の 2 代執権北条義時夫妻の菩提寺。境内には夫妻の墓があります。本堂内にある鎌倉時代の木造阿弥陀如来坐像と、東山阿弥師の来坐像と室町時代の木造観音菩薩坐像は静岡県指定文化財です。

MAP B-3 本立寺 県指定

は静岡県指定文化財です。

MAP B-2 香山寺 県指定

山本兼隆が建立したと伝えられています。境内には室町時代の六地蔵石櫃があります。周辺には山本兼隆の館があったと伝わっています。この地で滅ぼされた兼隆を偲ひ、供養塔が建立されました。

MAP A-2 成願寺 県指定

源氏再興の百日参りをする源頼朝に、餅を毎日献上した老女がいます。頼朝がその老女のためにこのお寺を建立したと伝えられています。その老女の墓が境内にあります。

MAP B-2 荒木神社 県指定

安政 4 年（1857）の完成後、幕府重宝の反射炉として 18 ポンドノ反射炉などを製造しました。実際に稼働した反射炉としては国内で唯一現存しています。

MAP B-2 荒木神社 県指定

平政 27 年（2015）に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」の構成遺産として世界文化遺産に登録されました。

MAP B-2 豆塚神社 県指定

大舅山にあった延喜式内社石塚高神社が分祀されたと伝え、由緒ある神社です。

MAP B-2 北條寺 県指定

鎌倉幕府の 2 代執権北条義時夫妻の菩提寺。境内には夫妻の墓があります。本堂内にある鎌倉時代の木造阿弥陀如来坐像と、東山阿弥師の来坐像と室町時代の木造観音菩薩坐像は静岡県指定文化財です。

MAP B-3 本立寺 県指定

は静岡県指定文化財です。

MAP B-2 香山寺 県指定

山本兼隆が建立したと伝えられています。境内には室町時代の六地蔵石櫃があります。周辺には山本兼隆の館があったと伝わっています。この地で滅ぼされた兼隆を偲ひ、供養塔が建立されました。

MAP A-2 成願寺 県指定

源氏再興の百日参りをする源頼朝に、餅を毎日献上した老女がいます。頼朝がその老女のためにこのお寺を建立したと伝えられています。その老女の墓が境内にあります。

MAP B-2 荒木神社 県指定

安政 4 年（1857）の完成後、幕府重宝の反射炉として 18 ポンドノ反射炉などを製造しました。実際に稼働した反射炉としては国内で唯一現存しています。

MAP B-2 荒木神社 県指定

平政 27 年（2015）に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」の構成遺産として世界文化遺産に登録されました。

MAP B-2 豆塚神社 県指定